

## 「水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の事業評価手法について

水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に当たっては、市の関係各課、関係機関等との連携はもとより、水戸市まち・ひと・しごと創生有識者会議などの意見を反映させながら、戦略における各種施策に取り組むこととし、その進行管理については、毎年度PDCAサイクルによる検証を行い、必要に応じて、計画の見直しを行うこととしている。

昨年度の有識者会議などの意見を踏まえ、評価対象及び評価方法について見直しを行ったところであり、評価は次のとおり実施し、その評価結果は公表することとする。

○評価対象：ア 地方創生関連交付金事業（新規）

イ 水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けた事業

○評価体制

実施事業の評価については、次のとおりの体制及び方式により行うこととする。

### ① 1次評価

事務事業の担当者が分析し、部、課の組織単位で評価を行い、内部の審査機関により一次評価を判断し、水戸市まち・ひと・しごと創生推進本部に諮ることとする。

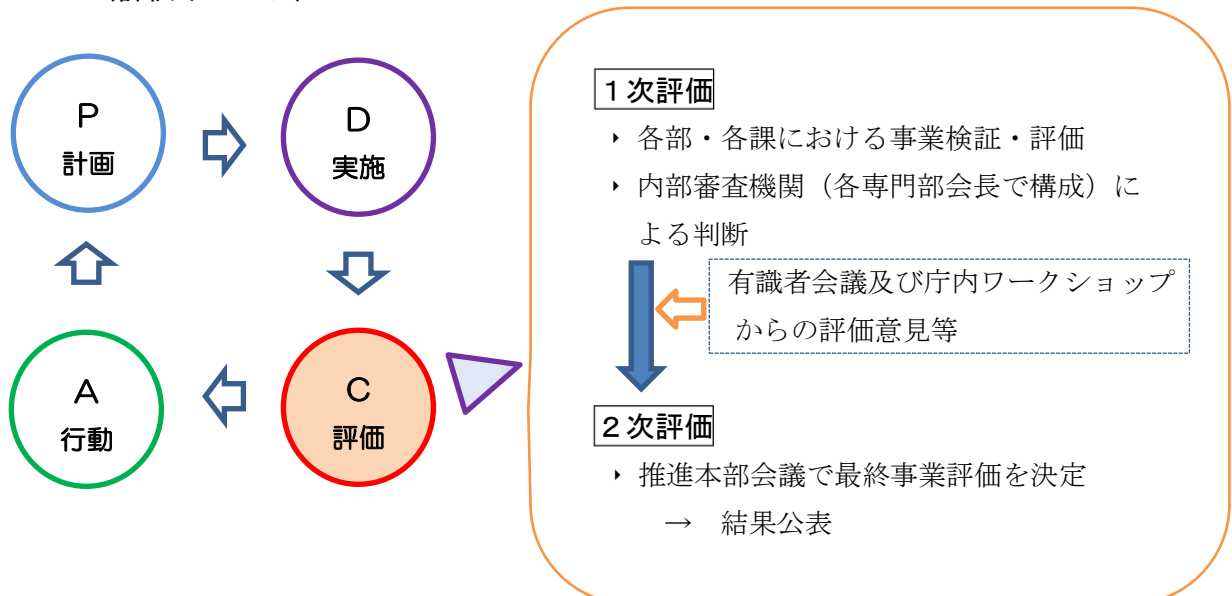


水戸市まち・ひと・しごと創生有識者会議及び若手職員の庁内ワークショップの意見等を反映する。

### ② 2次評価

水戸市まち・ひと・しごと創生推進本部において、評価の最終的な決定を行う。

〈評価イメージ〉



## ○評価方法（新規）

### ア 地方創生関連交付金事業

交付金事業については、年度ごとに設定した目標値の「達成率平均値」に基づき、国の評価基準を踏まえ、A～Dの4段階で評価する。

達成度	説明（達成率平均値）
A	地方創生に非常に効果があった（100%以上）
B	地方創生に相当程度効果があった（70%～100%未満）
C	地方創生に効果があった（50%～70%未満）
D	地方創生にあまり効果が見られなかった（50%未満）

### イ 水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けた事業

総合戦略に位置付けた重要業績評価指標（KPI）について、年度ごとの達成水準「期待値」（①）を設定し、その達成状況（②）によりA～Dの4段階で評価する。

①「期待値」：計画策定時の基準値から目標値までの差を100%とし、2016（平成28）年度は、5か年計画中の2年目であることから、2/5の40%の値を期待値とする。

$$\text{②「達成状況」} = \frac{\text{(2016年度の実績値 - 基準値)}}{\text{(目標値 - 基準値)}}$$

#### 4段階評価（2016年度）

達成状況に対して、以下のとおり評価区分を設定する。

達成度	説明（達成状況）
A	地方創生に非常に効果があった（40%以上）
B	地方創生に相当程度効果があった（20%～40%未満）
C	地方創生に効果があった（0%超～20%未満）
D	地方創生にあまり効果が見られなかった（0%以下）

#### 4段階評価のイメージ図

